

水生生物調査のご案内

～もの言わぬ生き物からのメッセージを伝えます～

環境への関心が高まる中、希少な生物だけでなく、身近な生物やそれらを含む生態系全体の保全が重要視されるようになってきました。また、環境アセスメント法や改正された河川法、新・生物多様性国家戦略でも自然環境、生物さらに生態系へ配慮することが求められています。これら生物の現況把握やその解析には、専門的かつ広い分野の知識・経験が必要です。

当協会では、淡水域から海域までの水中にすむ生物の採取・観察・分析（同定）をはじめ、生物と環境との関係を総合的にとらえたコンサルティングまで幅広く業務を行っております。

お気軽にご用命くださいますようお願い申し上げます。



●植物調査、動物調査は『陸生生物調査のご案内』をご覧ください

業務内容

● 調査・分析

- プランクトン調査
- 魚卵・稚仔魚調査
- 底生動物調査
- 干潟動物調査
- 潮間帯生物調査
- 魚介類調査
- 藻場調査
- 付着藻類調査
- 水生昆虫調査

● 希少生物調査



ハクセンシオマネキ



ニッポンバラタナゴ
(DNA分析)

● 産卵場調査 (アユ・シロウオ・カブトガニ)



カブトガニ産卵場調査



種の同定

● 魚道の遡上調査



遡上魚の目視観察

● コンサルティング

工事影響の予測

- 河川改修
- ダム建設
- 海岸埋立
- 護岸改修
- 漁業影響
(漁業補償)



河川改修



ダム建設

その他

- 希少生物の保護増殖
- A G P 試験
- 魚類毒性試験
- DNA 分析
- 魚類へい死原因の調査
- 赤潮・アオコ発生原因の解析
- 水生生物のパフレット作成
- 自然観察指導員の派遣

自然環境との共生

- 上りやすい魚道
- 自然共生型護岸
- 多自然川づくり



ホタル護岸



自然石護岸の生物調査

自然環境の保全・復元・創造

- 覆砂・養浜
- ビオトープ
- 藻場造成
- 産卵場造成



養浜



藻場造成



ビオトープ



一般財団法人

九州環境管理協会

〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1

TEL 092-662-0410(代表) 092-662-0447(水圏生物課)

FAX 092-662-0411(代表) 092-662-0424(水圏生物課)

e-mail:syougai@keea.or.jp http://www.keea.or.jp

調査担当

料金・見積担当

：環境部 水圏生物課

：総務部 渉外課